学　校　だ　よ　り

令和元年７月１９日（金）
第９号

呉市立下蒲刈中学校

〒　737-0303　　呉市下蒲刈町下島２１１９番地
TEL　0823-65-2024　　FAX　0823-65-2134
E－mail　skamc@kure-city.jp　　HP　http://www.kure-city.jp/～skamc/home.htm

＝　学　校　教　育　目　標　＝　　夢の実現に向け，粘り強く取り組む生徒の育成

第１学期終業式校長講話

令和元年７月19日

「夢をもつことの大切さ」

時が過ぎるのは早いもので，１学期の締めくくりの終業式を迎えました。この１学期は，何を頑張り，何が思い出として残りましたか。勉強，部活動，運動会，ビーチフェスタ，生徒会活動など人それぞれだと思いますが，やりきれたことは自信になったことでしょう。



さて，終業式の話として，２つ話をします。

１つ目は，「夢」をもつことの大切さについてです。

入学式や進路説明会，高校説明会では，「夢」をもつことの大切さを話しましたが，今，「夢」をもっていますか。「夢」を語れますか。この夏休みは，将来「こうなりたい」，「こうありたい」という「夢」や「目標」をじっくり見つけてください。

「ウサギとカメ」の話を思い出してください。なぜ「ウサギ」は負けたのでしょうか。よく言われますが，それは「見ているところが違った。」ということです。「ウサギ」は何を見ていたでしょうか。それは，相手である「カメ」を見ていました。「カメ」は何を見ていたでしょうか。「ゴール」を見ていたのです。「ゴール」を言い換えれば，「目標」となります。人と比べるのではないのです。自分はどこを見ているのか，見ているところは正しいのか，夏休みにじっくり考えてみてください。

２つ目は，「命」を大切にすると言うことです。

ニュースなどで，いじめを苦にした自殺事件を聞いたことがあると思います。大変残念なことですが，このようなことが起こっていることは事実です。法律でいじめは禁止されており，当然，下蒲刈中学校でもいじめは絶対に許しません。そして，「いじめ撲滅キャンペーン」に取り組んでいます。明日から夏休みになりますが，人間関係などで悩むことがあったら，「自分を大切にする」，「信頼できる大人に相談する」，「信頼できる大人が見つからなかったら，地域の相談窓口に相談する」ということを考え，命を大切にしてください。

また，夏休み中は遊びに出かけたり，自転車に乗って外へ出たりすることが多くなりますので，くれぐれも事故やトラブルに遭わないよう気を付けてください。

２学期も全員が元気にそろって始業式を迎えることを願っています。

海洋教育校外学習 ～アクアスに行きました～



７月 12 日（金），蒲刈小学校５・６年生，蒲刈中学校全生徒と一緒に，海洋教育の一環として島根県立しまね海洋館アクアス（島根県浜田市）に行きました。昨年度に引き続き，海と人との共生を目指す海洋教育で，今回のねらいは瀬戸内海と日本海の違いを知ることでした。出発時のバスの中から，中学生によるレクリエーションで盛り上がり，すぐに仲良くなり，アクアス到着後は６班に分かれて見学しました。シロイルカのショーではその大きさに圧倒され，様々な種類のバブルリングに驚きました。昼食後も各班で遊んで交流を図り，その後は砂浜に行って，アクアスの職員の方に，次の海洋プログラムを受けました。

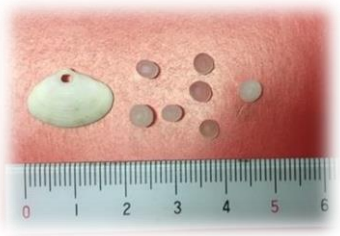


まず，海岸に打ち上げられた「漂着ごみ」を探しました。クルミなどの種子のように川によって山にある物が流されたり，ヤシの実のように海流によって遠いところから流れ着いたりしていることを習いました。そのため，海をきれいにするためには，海だけの問題ではないことを学びました。また，「漂着ごみ」の中でもプラスチック製品は分解が困難なため，環境や生態系への影響が大きいと心配されていました。実際に，ペットボトルやスプレー缶などを見せてもらいましたが，どこから流れ着いたかも推測できるそうです。バーコードと一緒に印刷されている数字の先頭３桁は，国（日本は 45 や 49 など）を表していて，韓国，台湾，インドネシアなどの「漂着ごみ」がありました。





その他にも，針が付いた注射器やレジンペレットと呼ばれる直径数ミリの円盤型のプラスチックの粒がありました。理由は分からないそうですが，プラスチック製品の原料であるレジンペレットが日本海にはとてもたくさん見つかるそうです。実際に浜辺に目を凝らすといくつもレジンペレットを見つけることができました。そして，これらのごみはとても小さく回収することは不可能だそうです。そのため，ごみを出さないことが必要で「一人一人がどのような行動しなくてはならないかを考えてください。」と課題をいただき，プログラムを終えました。



アクアスで見た日本海の魚，日本海の水平線と打ち寄せる高い波を見て，瀬戸内海との違いを感じ，環境を保全しようとする態度についても考えることができたと思います。そして，終日，蒲刈小・中学校の児童生徒の皆さんとも楽しく交流を図ることができました。

最後に，環境教育でよく言われている言葉を１つ紹介します。

Think Globally，　Act Locally（シンク・グローバリー，アクト・ローカリー）

「地球規模で考え，足元から行動する。」という言葉です。この言葉をヒントにして，いただいた課題について考えてほしいと思います。